



京都嵯峨野三千院

子ども若者応援団の初イベント 和やかに終えて

朝晩めっきり秋めいてきました。9月8日(日)は講演 & 音楽会に足をお運びいただき感謝いたします。岡本圭太さんのひきこもり体験と親や若者への貴重なメッセージで会場は優しい空気に包まれました。三澤まりさん・高比良秀一さんのピアノ、高橋孝子さん・岩佐由紀子さんのお箏、柏木礼子さんのフルート演奏は至福の時、心和みました。親及び支援経験者の島根三枝子さんは「生きなおす」結語、新舛秀浩さんは当事者の若者として語り、充実した会になりました。代表挨拶の川辺順子さん、司会の山本陽子さん、お疲れ様でした。吉田雄人横須賀市長 & 安川有里県議会議員の応援エールには励まされました。参加者は総計76人。会にご参加の一人ひとりの思いを大切に、「自己責任としない社会」「子ども若者の環境改善」に進む地域づくりへ一緒におかきましょう。楽しく笑顔で支え合って！

「ひきこもりは、甘えや怠けではない」by岡本圭太さん

講演会を最初から最後まで取材してくれた神奈川新聞横須賀支社織田匠記者は表題の岡本さんの言葉を引用し記事を書いた、9月10日付。甘え、怠け。この二つの言葉に苦しみ悩む当事者の若者たち。岡本さんはこう言及する。彼が働き始めた時「これで時給1000円貰えるんだったら、ひきこもっていた時のあの苦しさはいったいなんだったんだ？ もし給料というものを苦痛の対価と考えるのだとしたら、あの頃の苦しさは時給2000円か3000円ぐらいに相当してもおかしくないよな」(Vol. 01人並みへの憧憬〈あこがれ〉)と語ってくれた。実に象徴的な言葉だ。どうしてこの社会は甘え、怠けと軽々しくいってしまうのだろうか…。当事者の置かれている環境、そして心の中は尋常ではないのだ。吉田市長と安川県議の率直な思いと若者の理解と支



ひきこもり体験を語る岡本圭太さん
笑顔で聞き入る吉田市長と参加の皆様

援へのアプローチを、行政者の自覚を込め率直に語り会場の方々は力を得た。新たな社会を形成することも若者は希望だ。子ども若者の社会環境改革へ理解と共感の輪を描きたい。夢と希望を紡ぐ社会を求めて。

出演者・参加者からの感想 トークと音楽が融和していてとても良い会でした



アンガージュマン事務局長石井利衣子さん



お箏とフルート演奏 高橋・岩佐・柏木さん

○ピアノの演奏、お箏、フルート、奏でる束の間の流れに心癒えるひとときをありがとうございました。男性(高比良秀一さん)の方のピアノに向かう姿勢、命の輝きに涙のにじぶ思いでした。一つの事に集中する特技を持つことの大切さ、命の尊厳さを感じました。また、耳の遠い私は滝田さんのはっきりしたマイクのお声にまず感謝。岡本さんの体験に感動しながら、滝田さんの「問い掛け」の素晴らしさに、思わず乗り出しますが…プロ！(失礼しました)面白く満足しました。終了後、「本」を友人と一冊ずつ買い求め、雨の中2人で駅まで歩いて帰りました。(市田宏枝さん)

○企業が求める人材になるのはすごく難しくおなしい、ということではないでしょうか。働く場の間口を広げていく必要があります。生きづらさと障がいについての関係や対策がままならないと思います。人材育成のかたより、家庭は他者とのかかわりは薄く孤立。居場所の活動はその解決の一つの方法でしょう。(滝川君枝さん)

○滝田さんの突込みと岡本さんの抑えた語り口が、深いテーマを重くなりすぎず表現してくれました。高比良さんのピアノが岡本さんの言葉を柔らかい糸のように再度紡ぎ直し心の中にスーッと納めてくれました。(Aさん)

○今日は有意義な講演会と音楽の調べありがとうございました。ピアノ、フルートにお箏 遠くにももるかがり火が一瞬見えた気がしました。岡本さんのお話 生かされているお話が、とても共感できました。ボサノバの様なさりげないトーク いやされました。スタッフの皆様 滝田さん ありがとうございました。(Bさん)

コラム風 9月神奈川新聞教育フォーラムに執筆を始めた。定期的に登場するのは初めて、柄になく緊張。これまでの子ども若者との交流や親御さんとの寄り添いで、たくさんの経験を頂いた。具体を語れることと思っている。もちろん滝田の口調で語るので旋風を巻き起こすことはないが、そよ風を願っている。とかく世の中は紋切口調、一人一人の生きざまを掘り起こす風を吹かせたい(別添参照)。今年は台風の当たり年とさく…9月31日現在、太平洋上に2つ台風はある。関東平野では竜巻もよく発生する。自然災害には沈着冷静に対応するしかない。備えあれば憂いなしだ。

出演者・参加者からの感想 **ご挨拶のお話、ピアノ演奏が聞こえず・・・残念！**



○心うるおう つどいでした。岡本さんの飾りのないお話を聞き、そんな考えがあるんだ(そんな思いがあるんだよね)としみじみ思いました。自己肯定感が大切だと思いましたが、そこにたどりつくまでがむずかしいんだとわかりました。ありがとうございました(北島仍子さん 品川チャイルドライン)

○岡本さんの対談は滝田さんがいろいろ話をひきだして下さって、一人で話すより柔軟性がありよかったです。ひきこもり病院へ行こうとする人は良い、そうできる人は。人は人に育てられ、人に生かされる。まさに、岡本さんは3年でよい出会いに気づきました。少しでも早く、良い人との出会いがあるか否か、また生きている事の感謝に気がつくか、だとおもいます。まだまだ、もっともっと苦しんでいる人たちがたくさんいます。自分を大切に。皆、自分らしく。一生懸命いかされている命を生きていくか、それは他人がなんておもっても、イジヤないですか。がんばって生きていけば、だとおもいます。(伊東明美さん)

講演会 出演者・スタッフ等集合写真

○あのような形のお箏の演奏は始めてでしたのでずっと不安と、あの会に出ることがよいのか自問自答していました。とにかく1週間前に治療してきた腰の痛みが出ないことだけを祈って、こうして終えられたこと感謝です。昨日、参加して下さった友人知人の方々は「とても良かった」と言って下さり、岡本さんの話のある言葉に共感したり励みになったりした方も多かったようです。私自身もなかなか何もできませんし、お箏で何かできるのかと思うこともありますが、「今の私ができることを少しでも」と思いつつ年を重ねております。(中略注「私が市のボランティアで行なっている審査会での難しさを実感していますので」)ひきこもっている当人の方やご家族には、どんなことが、手だてがあるのか改めて考えさせられました。滝田さんのことは「あったかくて」「何でも話せそう」「パワフル」等々 皆様好印象でしたが、とにかく今までも現在もよく頑張っていらっしゃるなとつくづく思いました(後略 高橋孝子さんお箏演奏者)

○23才から10年間ひきこもりでした。現在44才。岡本さんと同じような気持ちで10年間過ごしました。あるきっかけで外に出ることができました。「このままではいけない」と人に会いたくなって。その間、父がアルツハイマー、母が脳梗塞に、介護歴9年です。4年前に結婚しました。が今度は義母がアルツハイマー！！ 10年間神奈川新聞の自由の声の投稿を続け、先日神奈川新聞社の市民記者になりました。初仕事は「アンガージュマン」です。10月20日に横須賀日日新聞に掲載予定です。「ひきこもりだったくせに」「あなたほど不幸な人はいない」「バカだとおもっていた」と人から言われ悔しい思いをしましたが『ひきこもりの人はパワーがあります』大丈夫です！！(鈴木百合子さん)

○岡本さんは最近で大学でお話しされている機会があるとか、是非これからも発信していただきたいです。福祉系の大学等にも範囲を広げて頂けたらなんて思っていました。時給の話は当事者にとって、その流れる時間がいかに辛い印象的でした。これからもご活躍ください。演奏して下さい皆さん本当にありがとうございました。楽器の音色に癒されました。電車の中でKさんにお会いし、会場ではMさんやKSさんにもお会いでき、上町アンガージュマンの円卓に時計の針が戻った様でした。KWさんとは時々鎌倉散策し互いに充電しています。(後略)(岡本久恵さん)

子ども若者応援団会議 9月26日(木)報告「被害者でも加害者でもない」の島根発言に救われた

新舂さん: 高校の文化祭へ。生徒が自立し盛り上がり熱が伝わる。エネルギーをもらった。究極人生を楽しむ。

涌井(な)さん: 新舂さんの行動力がうれしい。講演会は椅子の並べ方が良く、実直な岡本さんの話が伝わった。何とかしようとの親の価値判断で曲がって取る傾向がある、反省している。

涌井(か)さん: 市の会合で有志のおやじの会を作った、同じパターンに。本人が一番苦しいことを率直に聞いた。箏とフルーツが合いますね、感動。

山本さん: 空気も和やか、岡本さんが素直に語ってくれた。お箏の岩佐さんのご友人が著書が良いと。ボランティアで中学生30人ほどに教え可愛い。

川辺さん: 音楽と当事者の話で癒された。企画が良く救われた思い、ありがたかった。すぐに答えはないが岡本さんの話が聞け子どもとのことで役に立つ。一人ではない、人とつながる。ひきこもってもいい、肯定感が必要。

新舂さん: 動けない時代があった。したいけどできない。出来ないことで少しずつ落ち込んで。怠けているように見えるが

滝田 目の前のお金や未来の保障に振り回される。今の楽しさを謳歌したい。次回イベント“いじめと学校”を検討へ。



世代を超えて握手

ご案内 (駐車場は2台分、電車の方は駅までお迎えします。事前にご連絡を下さい)

相談は右の日程でご連絡ください。時間は10時～16時でお願いします。訪問は日程調整します、往復の時間も必要です、ご相談ください(土曜日にも訪問は受け付けたいと思います)。応援団会議は横須賀市市民活動センター午後2時～4時です。ご参加を

10月の開所日程			
3日(木)	相談(予約済み)	21日(月)	相談
7日(月)	相談(予約済み)	24日(木)	応援団会議
10日(木)	相談	28日(月)	相談 午後のみ
17日(木)	相談	31日(木)	相談 午後のみ

